

## 一般質問

議員 8 人

## 町政を問う

1 2月定例会の一般質問は  
4日および5日に行われました。  
紙面の都合により要約してお伝えします。  
なお、詳しい内容は吉岡町図書館に備えてある  
会議録で確認できます。  
また、平成21年第1回定例会以降の会議録は、  
吉岡町ホームページでもご覧になれます。

一般質問は、執行機関が提出した  
議案と関係なく、まちの行政全般にわたって、  
議員個人が執行機関に質問し、  
見解を求めるものです。  
吉岡町では、質問および答弁をあわせて、  
1人60分以内の持ち時間があります。

## ■金谷 康弘議員（7ページ）

1. 観光関連
2. 保育関連
3. 地域関連

## ■柴崎 徳一郎議員（8ページ）

1. 循環型まちづくりへの展望は
2. まちの観光振興策は

## ■平形 薫議員（9ページ）

1. ふるさと納税について
2. 企業版ふるさと納税について
3. ホームページリニューアルについて
4. 文科省の部活動指導員制度について

## ■富岡 大志議員（10ページ）

1. 小中学校の理科実験に関して
2. 保育園・幼稚園の災害対応に関して
3. 学校図書館・吉岡町図書館に関して

## ■岸 祐次議員（11ページ）

1. まちの財政状態について
2. 「花と緑のぐんまづくり」について
3. 高齢者社会の現状と改善策について

## ■五十嵐 善一議員（12ページ）

1. 未来を見据えたまちづくりについて
2. 高齢者支援について
3. 小中学校におけるコミュニティ・スクールの導入について
4. 子ども・子育て支援について

## ■小池 春雄議員（13ページ）

1. 機構改革
2. 子育て支援策
3. まち広報の配布実態

## ■大林 裕子議員（14ページ）

1. 子どもたちをめぐる諸問題について

## インターネット配信中です

本会議の様子を生中継、録画でも配信。アクセス方法は

吉岡町議会

検索



# 伊香保観光客の吉岡町への取り込みを



かなや やすひろ  
**金谷 康弘** 議員

## 答 計画仕組みづくりへの参画が重要

**問** 年間100万人を超える、伊香保温泉観光客を、どうまちへ取り込むか。

**答** 町長 計画・仕組みづくりへの参画が重要、観光トライアングル・再発見ウォークの組み合わせで、観光客の呼び込みにつな

**問** げたい。

**答** 「渋川、伊香保、吉岡観光トライアングル」の今後は、町長 総合計画の計画期間中は、継続して今の方針に磨きをかける。

**問** 伊香保を拠点とした寺院は、今後温

泉宿泊客増に期待が持てる。このインバウンドを、どうまちへ取り込むか。

## 吉岡渋川榛東で船尾滝の観光開発を

**答** 産業建設課長 榛名東麓で楽しんでいけるような、観光地の造成が重要であると考ええる。

## 答 どのような取り組みができるか検討

**問** 吉岡・渋川・榛東の3市町村での船尾滝を核とした観光開発を。

**答** 産業建設課長 船尾滝を際立たせるには、周辺市町村を巻き込んだ体制づくり、市町村を超えた周辺施設との連携による相乗効果が重要。どのような取り組みができるか検討。

**問** その支援体制は。

**答** 健康福祉課長 運賃を引いた額に、国・県補助金3分の2の残金を3市町村で人口割り。

## 問 その活用状況は。

**答** 健康福祉課長 平成28年度は渋川市321件、榛東村5件、吉岡町81件。

## 問 病児保育、病後児保育の活動状況は。

**答** 健康福祉課長 平成28年度は町内55件、町外14件。

**答** 健康福祉課長 保護者の子育てと就労の両立を支援。病気の回復期であり、集団保育の困難な乳幼児の健全な育成と、資質の向上に寄与するために、町内の小児科へ委託。

## 問 その支援体制は。

**答** 健康福祉課長 事業に係る県の基準額から利用者負担を引いた額に県の3分の1の補助を受け、残りをまちが負担。

## 問 その活用状況は。

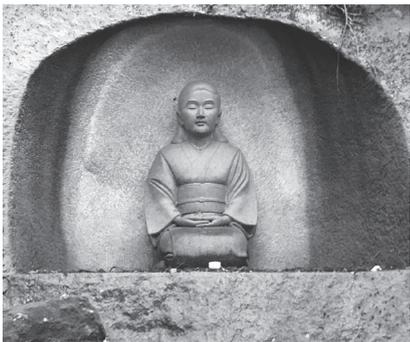
**答** 健康福祉課長 平成28年度は町内55件、町外14件。

## 問 町内のサイクリングロード脇の竹藪、建設資材は。

**答** 町長 建設資材は所有者に撤去依頼。竹藪は来春の「花と緑のぐんまづくり」に向け一部伐採を検討中。



通行止めでお参りできない船尾観音像  
いち早い観光開発を



観音像脇の静思像



しばさき とくいちろう  
柴崎 徳一郎 議員

# 「雑がみリサイクル」を始めてみませんか

## 答 広域組合に意見として上げたい

**問** 紙ごみ対応で「雑がみリサイクル」を始めてみてはどうか。  
**答** 町民生活課長 広域圏振興整備組合の協議の中に「雑がみ」の取り扱いについて、意見として上げたい。また、町内資源・ゴミ回収事業として住民に

周知。  
**問** 広域圏清掃センターの、ごみ焼却処理施設の耐用年数は。  
**答** 町民生活課長 平成35年度までは対応可能。その後は、オーバーホール工事で延命措置など対応。



ごみ収集所のより良い環境保全が望まれる

**問** 小野上最終処分場の埋め立て期間と順番は。  
**答** 町長 指針では、15年。既に3年経過で、次は、吉岡町の当番。  
**問** 町内ゴミの年間排出量の推移は。  
**答** 町民生活課長 人口増加とともに、今後も上昇傾向。

意見聴取で、より良い環境が保たれるよう対応。  
**問** 各家庭の食品ロス  
を減らす推奨策を。  
**答** 町民生活課長 ※リフューズの推進など減量化策を周知。  
**問** 町内のゴミ収集所の数は。  
**答** 町民生活課長 現在255カ所。  
**問** マナーアップ週間事業の改善は。  
**答** 町民生活課長 見直しも必要か。環

境美化推進協議会で検討。  
**問** 学校給食での食品ロス（残食量）推移は。  
**答** 教育委員会事務局 長 現在、減少傾向。

**問** 3校児童生徒らの給食に対する声は。  
**答** 教育委員会事務局 長 アンケートで「給食大好き・好き」が77%など、おおむね好評。

## 答 来年度県要望で協議したい

**問** 船尾滝周辺の立ち入り禁止解除のめどは。  
**答** 産業建設課長 来年度県要望で協議・調査したい。

**問** 道の駅よしか温泉の今後の活気策は。  
**答** 町長 振興公社・物産館で、いつもの協力関係のもと、関係諸団体と連携し、観光拠点化に盛り上げられるよう、まちも援助。

**問** 船尾自然公園パーベキュー広場に大型テントの設置を。  
**答** 町民生活課長 見直しも必要か。環

**ミニ解説**  
※リフューズ  
ゴミになるものを拒むこと





とみおか たいし  
富岡 大志 議員

# 理科教育設備 整備費等補助金 の活用を

**問** 文部科学省は、理科教育を実施するための設備の整備事業を行う場合、その経費の一部を「理科教育設備整備費等補助金」で補助している。小中学校に案内し、実験機器の整備に、この補助金の積極的な活用を。

## 答 今後必要な備品などで活用も検討

**答** 教育委員会事務局 長 今後、指導要領改訂にともない必要になる備品などは、計画的に整備し、「理科教育設備整備費等補助金」の活用も検討。  
**問** 基本的な実験機器の操作を理解するために、回数を増やす、



補助金の活用により、実験機器の計画的な整備を  
(双眼実体顕微鏡)

1人で操作する機会の拡充が重要では。  
**答** 教育委員会事務局 長 次期学習指導要領でめざす内容を理

解し、授業改善に取り組むとともに、今後必要の実験機器などの整備に努めたい。

## ヘルプカードの導入を

**答** 今のところ検討はしていない

**問** ヘルプカードとは、自身の障がい状況の説明が困難な人が、緊急時や災害時などに、支援を求めるとして活用するもの。まちも導

入してはどうか。  
**答** 町民生活課長 災害時には「災害時避難行動要支援者名簿」をもとに対応。ヘルプカードに近い対応

になる。  
健康福祉課長 導入について今のところ検討はしていない。  
**問** 甚大な災害や震災が発生した場合の、保育園や幼稚園への具体的な対応は。園児が帰宅できなくなり宿泊対応をとることも想定できる。保存食などの支援については、どのように考えるか。

**答** 町民生活課長 各保育園・幼稚園と協定を締結している。災害時には必要な食料、支援物資の供給、健康に関する管理など、互いに協力していくことになる。避難所と同様の対応をしていきたい。

**問** 吉岡町図書館の、今後の「レファレンスサービスの充実」に対して、具体的には、どのようなことを考えているか。

**答** 教育委員会事務局 長 相互貸借制度の利用、「協力レファレンスサービス」で他館の協力を求めるなど、利用者の要望に寄り添っていくことを考えて対応。本を愛し、図書館機能の可能性を熟知した職員をより多く配置することにより、サービス向上につなげる。

**三三解説**  
※レファレンスサービス  
学習・研究活動をすすめるために、情報を求めてきた個々の利用者に対して、図書館員が必要な資料や情報を効率的に提供するサービス



岸 祐次 議員

# まちの財政は健全か

## 答 いずれの指標も早期健全化基準内

**問** まちの財政状態は、健全か。

**答** 町長 人口増により、財政力は上昇傾向にある。<sup>※1</sup>財政健全化判断比率は、いずれの指標も<sup>※2</sup>早期健全化基準内で、健全と認識。<sup>※3</sup>

**問** 経常収支比率が上がった要因は。

**答** 財務課長 地方消費税交付金や普通交付税の減が挙げられる。

**問** 人件費の今後の取り組みは。

**答** 総務政策課長 現在、全事務事業の経費・人件費・職員数などの<sup>※4</sup>事務事業棚卸

調査業務に取り組んでいる。組織機構の再編成も今後検討。

**問** 電算システム共同化による経費削減は。

## 「花と緑のぐんまづくり」の開催期間は

**答** 来春4月14日から1カ月間

**問** 「花と緑のぐんまづくり」の基本計画は。

**答** 町長 会期は、平成30年4月14日(土)から5月13日(日)までの1カ月間。メイン会場は吉岡町役場周辺、サテライト会場は、道の駅「よしおか温泉」、ふれあい処は船尾自然公園を予定。

**問** 子どもたちと連携した「花育」は。

**答** 産業建設課長 開催テーマは「ともに育てる花と緑の交流のまち」。子どもたちは「花育」教室を通じ

**答** 総務政策課長 電子計算費の削減や業務改革には、<sup>※5</sup>自治体クラウド導入への取り組みとなる。群馬県や町村会への提言を検討。

て、優しさと思いやりある心を持つてもらえれば。

**問** 南下城山防災公園の花と緑づくりの将来構想は。

**答** 産業建設課長 まちの「基幹的な公園」として歴史性や優れた眺望を生かしつつ、防災機能も有する公園として現在整備中。緑の核としてふさわしい拠点づくり、四季を通じて花木を楽しめる空間づくり、広域からの利用も想定した拠点の形成をめざしている。

**問** 「花と緑のぐんまづくり」を契機に、花壇苗資材費補助金の制定は。

**答** 産業建設課長 この開催を機会に調査研究をしたい。

**問** 高齢者の交流の場、安価で楽しめるスナックの設置は。

**答** 健康福祉課長 設置や作成が必要と考える。

**答** 健康福祉課長 高齢者のサロン事業として、今後の検討課題。

**問** 高齢者の健康維持のため、新たな散歩道の設置やガイドの作成は。

### ミニ解説

- ※1 財政健全化判断比率 財政運営の悪化の度合いを示すものなどの財政指標の総称
- ※2 早期健全化基準 地方公共団体の財政の健全化が必要とされる基準
- ※3 経常収支比率 地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、数値が低ければ低いほど財政運営に弾力性があり、政策的に使えるお金が多くなる
- ※4 事務事業棚卸調査業務 全事務事業のコストや業務量などを調査し、適正な業務執行体制構築を目的とした基礎資料を作成するもの
- ※5 自治体クラウド 自庁舎での情報システムの管理・運用に代えて、外部のデータセンターを利用するもの



ふるさとキラキラ応援フェスティバル 2017秋のハンギングバスケット教室



いがらしよしかず 五十嵐善一 議員

# よしおか温泉 一帯の未来図は

## 答 長期的展望 に立ち 施策を推進



さらなる振興策が望まれるリバートピアよしおか一帯

**問** リバートピアよしおか一帯の、さらなる振興策を。

**答** 町長 着地型観光拠点として、ほかの道の駅との差別化をはかりつつ、長期的展望に立ち施策を推進。電気自動車用充電スタンドの現状と

**問** 今後の対応策は。

**答** 産業建設課長 町内に7カ所ある。今後は電気自動車の普及率や技術革新を注視。国や県の動向を見ながら検討。

**問** 再犯率の高い高齢者への地域支援策は。

**答** 町長 保護司や更生保護女性会と連携し、協力雇用主へ就業支援などを働きかける。生活困窮者などには、関係機関と協力して支援を実施。

**問** 高齢者の引きこもりや、孤独死の増加に対するまちの対策は。

**答** 健康福祉課長 「ひとり暮らし高齢者基礎調査」で把握した

**問** 高齢者の多剤併用の弊害などへの、意識啓発策などの考えは。

**答** 健康福祉課長 国民健康保険証更新時配付のパンフレットで、薬のもらい過ぎなどの注意喚起を行い、

**三二解説**

※1 地域調剤情報共有システム  
クラウドコンピューティングシステムを活用して住民の服薬情報を一元管理するもの

※2 コミュニティ・スクール  
学校運営協議会制度を導入する学校を指し、地域との連携・協働体制が組織的・持続的に確立される

**問** 診療報酬明細書の2次点検で、医療費の無駄遣いのチェックを実施。地域調剤情報共有システム導入の

**答** 健康福祉課長 現時点での導入は考えていない。

## コミュニティ・スクール導入の道筋は

### 答 県内の状況を見ながら検討

**問** 小中学校のコミュニティ・スクールの現状と、実現への道筋は。

**問** 子宮頸がんワクチン接種問題への、その後の対応は。

**答** 町長 個々の相談者には、その人に合った情報提供で対応。

**答** 教育長 学校運営協議会は未設置だが、学校評議員制度や学校支援センターを設置して、学校と地域の連携を密にしている。県内状況を見ながら、今後導入を検討。

**問** 子どもへの子宮頸がん定期検診導入の考えは。

**答** 健康福祉課長 導入には格段の配慮と、十分な検討が必要。



こいけ はるお  
**小池 春雄** 議員

# 時代に即し 機構改革<sup>※1</sup>を

## 答 新たな組織のあり方を慎重に検討

**問** まちの行政機構は改編以来10年以上経過している。

この10年は激動の10年で、インターネットの普及や少子高齢化の波は、私たちの想像を上回る早さであった。子育ての問題では、保育園に入れられず、全国的な大きな問題となっている。まちはこの問題をクリアしているが、生産人口が増えているので、安心できる問題ではない。高齢化対策は大きな課題。団塊の世代といわれる人たちが、後期高齢者となり、高齢者対策は大きな課題。

このような状況を考え、時代に即した行政機構改革が必要では。

**答** 町長 全庁的な機構改革をしてから、10年が経過。当時、17の課・局・係であったものを、現在の9の課・局に統合。係制であったものを室制に改編し、分掌する事務も再編統合した。



今後の機構改革が期待される（役場庁舎内）

この間、室の統合・分割などで職員の配置の見直し、各所属間における事務事業の追加や、移動などを行った。これまでの行政運営から脱却し、社会・経済情勢の変化にあった、新たな組織のあり方が重要。慎重に検討し、今後対応。

## ※2 子育てコンシェルジュの導入は

**答** さらに支援サービスを強化

**問** 核家族化の時代にあり、子どもを持つ人、これから持つ人、子育てはたいへん。子育て支援で子育てコンシェルジュを置いている町村が増えている。まちでも検討を。

**答** 町民生活課長 自治会では、しっかりと配布をしている。現在役場の窓口にも備えてあるが、そのほかの公共施設にも同様の対応はできると考えて、関係部署と検討。

**問** 健康福祉課長 同僚を既に設置しているが、さらに支援サービスにつながるよう強化していく。

**答** 全戸にまちの広報誌などは届いているか。届いていなければ改善をはかる必要がある。

### 三二解説

※1 機構改革

行政活動が適正に実施されるよう、質的・量的上限に応じて、人員や組織を再編する改革

※2 子育てコンシェルジュ

子育ての悩みや困りごとについて一緒に考え、必要な子育て支援サービスにつながるサポートをする職



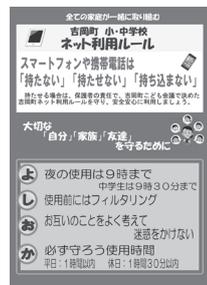
おおばやし ゆうこ 議員 大林 裕子

# 「ネット利用ルール」の活用を

## 子ども会議で検討

**問** SNSなどの危険から子どもたちを守るため、使い方を啓発する必要がありますかと思うが。

**答** 教育委員会事務局 長 スマホやインターネット利用の正しい



積極的に活用を

**問** 保護者やまち全体に「ネット利用ルール」を周知するため、まち広報誌に掲載する考えは。

**答** 教育委員会事務局 長 保護者へは、

**問** 「吉岡子ども会議」で作られた「ネット利用ルール」を、繰り返し再確認するなど、積極的に活用すべきでは。

**答** 教育委員会事務局 長 子ども会議などで検討。

い知識などを講習会で啓発。

**ミニ解説**

※1 吉岡子ども会議 吉中生徒会、明小駒小児童会で組織された会議

※2 スマホ用匿名相談アプリ ネットいじめやSNS上のトラブルを、匿名で管理者に相談できるアプリで情報と学校名、学年が管理者に伝わる

**問** 教育委員会事務局 長 平成31年度に着工し、完成をめざす。

**問** 駒小体育館建て替えの計画は。

**答** 教育委員会事務局 長

**問** 中学校の教室不足への対策は。

**答** 教育長 平成34年度に不足する心配あり。

**問** 学校の相談体制の充実が基本。

**答** 教育委員会事務局 長

**問** スマホ用匿名相談アプリの使用の考えは。

**答** 教育委員会事務局 長

ネット利用リーフレットを配布。まち全体の啓発には、ホームページに掲載。

### 第3回臨時会賛否一覽

議員名	結果		議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16			
	賛成	反対		富岡大志	大林裕子	金谷康弘	五十嵐善一	柴崎徳一郎	竹内憲明	高山武尚	村越哲夫	坂田一広	飯島衛	岩崎信幸	平形薫	山畑祐男	小池春雄	岸祐次	馬場周二			
承認 第4号	14	0	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案 第56号	職員給与に関する条例等の一部改正…勤勉手当の支給率及び職員給料表の水準の引上げ、扶養手当の見直しに係る改正など	14	0	可	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
					○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
					○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
					○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
					○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
					○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第57号	14	0	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○				
第58号	14	0	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○				
第59号	14	0	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○				
第60号	14	0	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○				
第61号	14	0	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○				
第62号	14	0	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○				

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥  
議長は採決に加わっていないため「-」で表示